

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公開番号】特開2009-10505(P2009-10505A)
【公開日】平成21年1月15日(2009.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2009-002
【出願番号】特願2007-167812(P2007-167812)
【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月26日(2010.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影モードと他のモードとを備えており、追記型記録媒体を装着可能な撮像装置であって、

撮影モードにおいて撮影した画像情報を前記追記型記録媒体に記録する記録手段と、
前記撮影モードから他のモードに移行した場合に、前記追記型記録媒体の未記録領域に
ダミーデータを書き込むファイナライズ処理を実行するファイナライズ手段とを有するこ
とを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記ファイナライズ手段は、前記追記型記録媒体のファイル管理情報記録領域の未記録領域全てにダミーデータを書き込むことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記追記型記録媒体の空き容量を検出する空き容量検出手段を備えており、

前記ファイナライズ手段は、

前記撮影モードから他のモードに移行した場合であって、且つ、前記撮影モード開始時
における前記追記型記録媒体の空き容量よりも、前記撮影モード終了時における前記追記
型記録媒体の空き容量のほうが小さい場合にファイナライズ処理を実行し、

前記ファイナライズ手段は、前記撮影モードから他のモードに移行した場合であって、
且つ、前記撮影モード開始時における前記追記型記録媒体の空き容量よりも、前記撮影モ
ード終了時における前記追記型記録媒体の空き容量のほうが小さくない場合にはファイナ
ライズ処理を実行しないことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記追記型記録媒体の空き容量を検出する空き容量検出手段を備えており、

前記撮影モードから他のモードに移行した場合であって、且つ、前記撮影モード開始時
における前記追記型記録媒体の空き容量よりも、前記撮影モード終了時における前記追記
型記録媒体の空き容量のほうが小さい場合に、前記ファイナライズ手段によるファイナ
ライズ処理を実行するか否かを選択可能とする選択手段を備えたことを特徴とする請求項 1
～ 3 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記選択手段は、表示部に前記ファイナライズ手段によるファイナライズ処理を実行す

るか否かの選択画面を表示することを特徴とする請求項 4 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

書換型記録媒体を装着可能に構成されるとともに、バッテリー電圧を検出する電圧検出手段を備え、

前記書換型記録媒体が装着された場合の前記撮影モードにおいて、前記電圧検出手段が検出したバッテリー電圧が第一の閾値を下回った場合には、当該撮影モードを強制終了させ、前記追記型記録媒体が装着された場合の前記撮影モードにおいては、前記電圧検出手段が検出したバッテリー電圧が前記第一の閾値よりも大きい第二の閾値を下回った場合に、当該撮影モードを強制終了させることを特徴とする請求項 3～5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

撮影モードと他のモードとを備えており、追記型記録媒体を装着可能な撮像装置における画像記録方法であって、

撮影モードにおいて撮影した画像情報を前記追記型記録媒体に記録する記録ステップと

、

前記撮影モードから他のモードに移行した場合に、前記追記型記録媒体の未記録領域にダミーデータを書き込むファイナライズ処理ステップとを有することを特徴とする画像記録方法。

【請求項 8】

撮影モードと他のモードとを備えており、追記型記録媒体を装着可能な撮像装置における画像記録方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

撮影モードにおいて撮影した画像情報を前記追記型記録媒体に記録する記録ステップと

、

前記撮影モードから他のモードに移行した場合に、前記追記型記録媒体の未記録領域にダミーデータを書き込むファイナライズ処理ステップとをコンピュータに実行させるプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の撮像装置は、撮影モードと他のモードとを備えており、追記型記録媒体を装着可能な撮像装置であって、撮影モードにおいて撮影した画像情報を前記追記型記録媒体に記録する記録手段と、前記撮影モードから他のモードに移行した場合に、前記追記型記録媒体の未記録領域にダミーデータを書き込むファイナライズ処理を実行するファイナライズ手段とを有することを特徴とする。

また、本発明の画像記録方法は、撮影モードと他のモードとを備えており、追記型記録媒体を装着可能な撮像装置における画像記録方法であって、撮影モードにおいて撮影した画像情報を前記追記型記録媒体に記録する記録ステップと、前記撮影モードから他のモードに移行した場合に、前記追記型記録媒体の未記録領域にダミーデータを書き込むファイナライズ処理ステップとを有することを特徴とする。

また、本発明のプログラムは、撮影モードと他のモードとを備えており、追記型記録媒体を装着可能な撮像装置における画像記録方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、撮影モードにおいて撮影した画像情報を前記追記型記録媒体に記録する記録ステップと、前記撮影モードから他のモードに移行した場合に、前記追記型記録媒体の未記録領域にダミーデータを書き込むファイナライズ処理ステップとをコンピュータに実行させるプログラムである。